

取扱説明書

オイルドレーナー「受けるくん」

No.GOD80A

自動車用オイル交換作業時の廃油受け、搬送、排出用機器です。

このたびは、**KTC** オイルドレーナー (No.GOD80A) をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をより安全・適切にお使いいただく為、この取扱説明書をお読み下さい。
取扱説明及び表示の注意事項や使用方法を十分にご理解いただいた上で正しくお使い下さい。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管して下さい。

⚠ 注意	誤った取扱いをした場合、傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容を表示します。	⊘ 禁止行為を表示します。
❗	必ずしてほしい行為を表示します。	⚠ 注意
		確認してほしい行為を表示します。

使用上の注意

使用前に必ずお読み下さい。

⚠ 注意

- ❗ 製品の取扱説明及び注意事項をお読みになり、十分理解した上でお使い下さい。
- 各部の取付けボルト及びナットに緩みがないことを確認した上で使用して下さい。
- 本製品に化学薬品、海水、水分等を付着させないように使用して下さい。
- 保守点検等は取扱説明書の手順に沿って行って下さい。取扱を誤りますと製品や車輛の破損又は作動不良の原因となります。
- 製品のメンテナンスに際しては、製品仕様を守ると共に各部の交換、その他の関連メンテナンス等を十分確認の上作業を行って下さい。
- 安全のため保護めがねなどを着用して作業して下さい。
- ⊘ 製品又は作業対象部位に亀裂、変形などの異常が認められる場合は使用しないで下さい。
- 荷重を掛け過ぎると破損する可能性があります。仕様範囲外での使用はしないで下さい。
- 故障の原因となりますので衝撃を加える等の外圧を与える行為は行わないで下さい。
- 分解、改造はしないで下さい。加熱、加工した場合には本来の性能を発揮することはできません。
- 本製品を使用する場合には、不安定な場所で使用しないで下さい。
- 適用外対象物、仕様範囲外の部位では破損や作動不良の原因となりますので使用しないで下さい。

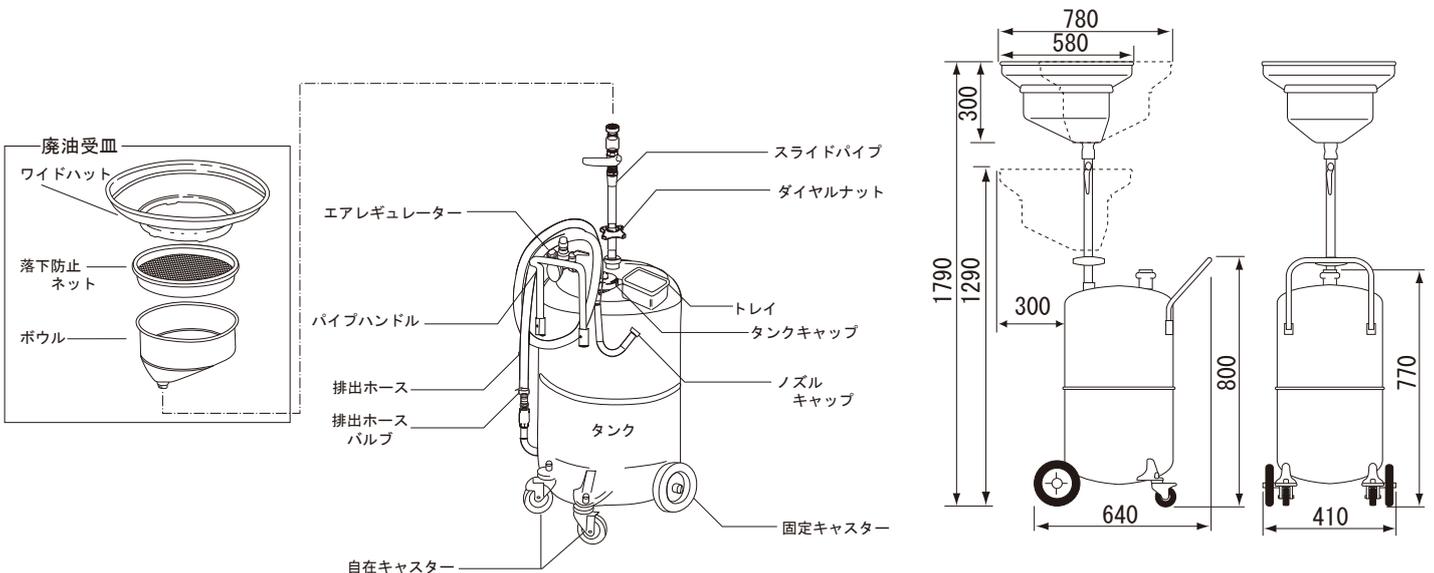
作業前に必ずお読み下さい。

⚠ 注意

- ❗ 高温のオイルを抜取る際は、保護めがね、作業用手袋、耳栓、安全帽、防塵マスクを着用し、目づ、火傷に注意して下さい。
- 補修部品は **KTC** 純正品をご使用下さい。
- 移動時以外は水平であり、地面が硬くしっかりした場所で使用して下さい。
- 移動時は転倒防止のため、パイプハンドルを持って押し方向で行って下さい。
- 移動時は廃油受皿が動かない様、ダイヤルナットを確実に締めて固定して下さい。
- 高さ調整時は、廃油受皿を確実に保持して下さい。
- 廃油排出作業を始める前に、排出ホースのノズルプラグを抜いて下さい。
- 廃油排出時にノズルが振動しますので必ず排出ホースを保持して下さい。
- 廃油排出速度は油温によって変化します。
- ⊘ 本製品は自動車のオイル用です。本来の用途以外での使用、又は改造は行わないで下さい。
- 可燃性の強いもの（ガソリン、シンナー、ベンジン等）、腐食性の強いもの（ブレーキ液、LLC、薬品、水等）を入れて下さい。
- タンクを加熱しないで下さい。熱源の近くで使用しないで下さい。
- 廃油受皿に物を置かないで下さい。（オイルフィルター等）
- 排出時以外は流入バルブを閉じないで下さい。
- 廃油をレベルゲージのSTOPラインより多くタンクへ入れないで下さい。
- 廃油の排出時の入力空圧を1bar(0.1Mpa/1kgf/cm²)以上にししないで下さい。
- 廃油排出終了後はタンク内のエアが排出されます。排気音が止まるまで閉じているバルブ類、タンクキャップを開かないで下さい。
- タンク内を加圧した状態で放置しないで下さい。

仕様及び各部名称

品名	No.	タンク		廃油受皿			キャスト径		入力用エアカプラ	排出ホース内径・長さ	エア加圧式廃油排出標準装備	▼kg
		全容量	有効容量	容量	サイズ 大径(小径)×高さ	ワイドハット	前方(自在)	後方(固定)				
受けるくん	GOD80A	80リットル	62リットル	13リットル	580(390)×300	標準装備	φ80	φ150	日東工器20PM	φ19・2m	標準装備	28



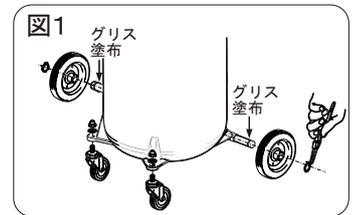
適用

軽自動車から普通車、2tトラックまで

組立方法

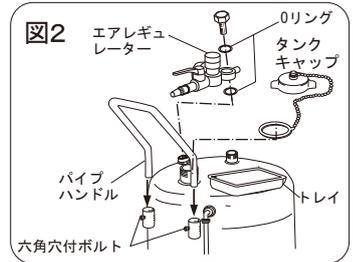
1 キャスターの取付(図1)

- ・タンク後方の両シャフトに固定キャスターを取付けスナップリングで固定します。
- ・前方の穴位置に自在キャスターを取付けワッシャーを挟み袋ナットをレンチ等で締付けて下さい。
- 注意** 固定キャスターの動きがスムーズでない時はキャスターしゅう動部にグリスを少量塗布して下さい。



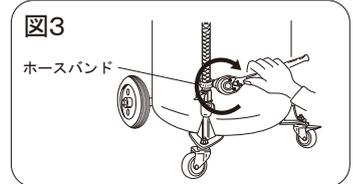
2 パイプハンドル類の取付(図2)

- ・パイプハンドルを取付け穴の底まで入れ、六角穴付きボルト(二面幅5mm)で固定します。
- ・トレイとタンクキャップを図の位置に取付けます。
- ・エアレギュレーターを取付けます。
- 注意** オリング(2ヶ)が切れないよう注意して取付けて下さい。



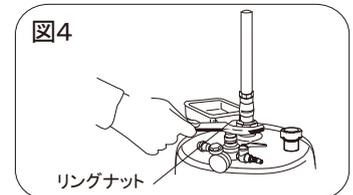
3 排出ホースの取付(図3)

- ・タンク底部にある排出ホースバルブに排出ホースを接続し、ホースバンドで固定します。(二面幅7mm)
- 注意** ホースバンドは漏れ防止のため、ソケットレンチ等で確実に締付けて下さい。



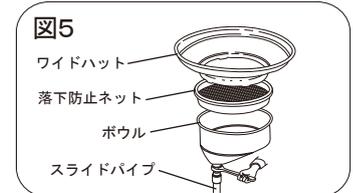
4 スライドパイプの取付(図4)

- ・スライドパイプをタンク正面側に取付け、リングナットをパイプレンチ等で締付けて固定します。



5 廃油受皿の取付(図5)

- ・ボウルをスライドパイプにねじ込み、レンチ等を使用して固定します。(パイプ側ナット二面幅38mm)
- ・落下防止ネットにワイドハットを組付けボウルに挿入し、廃油受皿を完成させます。
- 注意** 廃油受皿を上下させにくい時はスライドパイプしゅう動部にエンジンオイルを少量塗布して下さい。



保管方法

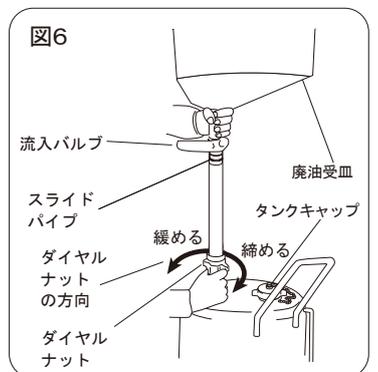
- ・エアホースを取り外した状態で吸引ホースを巻き取り、吸引ノズルをホルダーに収納し、安定した場所に保管して下さい。
- ・長期間保管する場合はタンクの廃油を全容量排出し、転倒しないよう輪止め等でキャスターを固定させて保管して下さい。

使用方法

A. 受けるくん 廃油下抜き作業

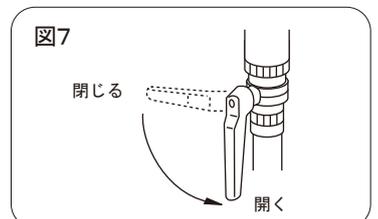
〈廃油受皿高さ調整〉

- ① 水平で安定した場所にオイルドレーナーを置きます。
- ② 廃油受皿が落下しないよう手で保持します。(図6)
- ③ ダイヤルナットを緩めます。
注意 ・ダイヤルナットを緩めると廃油受皿が下がる場合があるので頭等を打たないように注意して下さい。
- ④ ドレンプラグの位置に合わせて廃油受皿の高さを調整します。
- ⑤ ダイヤルナットを締め、スライドパイプの動きを固定します。
注意 ・落下しない様、確実にダイヤルナットを締めてスライドパイプの動きを固定して下さい。



〈廃油を受ける〉

- ⑥ 流入バルブが開いている事を確認します。(図7)
- ⑦ タンクキャップが緩めてあることを確認します。(エア抜きのため)
- 注意** ドレンプラグの位置、方向を確認し、ドレンプラグを緩め、取り外します。
 - ・廃油をレベルゲージのSTOPラインより多くタンク内へ入れないで下さい。
 - ・廃油受皿にオイルフィルタ等を置かないで下さい。



B. 受けるくん タンク内の廃油排出手順

〈排出準備〉

- ① 流入バルブ、エアレギュレーターのバルブ、排出ホースのバルブを全て閉じます。(図8)
- ② タンクキャップを閉めます。
- ③ ダイヤルナットを緩め廃油受皿を上限いっぱい(スライドパイプの連結部がカチッという)まで引き上げます。(図9)
- ④ ダイヤルナットを締めて固定します。
- ⑤ 排出先(ドラム、廃油槽等)の空き容量が充分か確認します。
- ⑥ 排出ホースのノズルキャップを抜き、排出先へ挿入します。

注意 ノズルキャップを外す際、廃油がたれないようウエス等を当てて下さい。

〈排出する〉

- ⑦ 排出ホースが排出先(ドラム、廃油槽等)から外れないよう手で保持します。(図10)
- ⑧ エアホースを接続します。
- ⑨ 排出ホースバルブを開きます。
- ⑩ エアレギュレーターのバルブを開きます。
- ⑪ 排出が終了したらエアホースを外し、排気音が停止してから、排出ホースバルブを閉じて下さい。

- 注意** 製品のタンク内の廃油が空になる(排出終了)寸前に、廃油と空気が混合して排出され、排出ホースのノズルが振動します。排出中は必ず排出ホースのノズルを保持して下さい
- ・緊急に排出を停止したい場合は排出ホースバルブを閉じて下さい。
 - ・廃油排出終了後は排気音が停止するまで流入バルブと、タンクキャップを開けないで下さい。
 - ・廃油排出時以外は流入バルブを閉じないで下さい。
 - ・廃油排出速度は廃油温度により変化します。廃油が冷えている時には排出の時間が掛かることがあります。
 - ・排出操作を誤ると、逆流して廃油が飛散したり霧状の廃油をまき散らす原因になりますので、排出手順を守って下さい。
 - ・減圧後の入力空圧(空圧計表示圧)は1bar(0.1Mpa/1kgf/cm²)以下でご使用下さい。
 - ・排出ホースはタンクの底まで伸びたパイプに接続されており、タンク残量レベルゲージより下の廃油も排出できます。
 - ・ホース類は擦れないよう巻き取って固定して下さい。

図 8

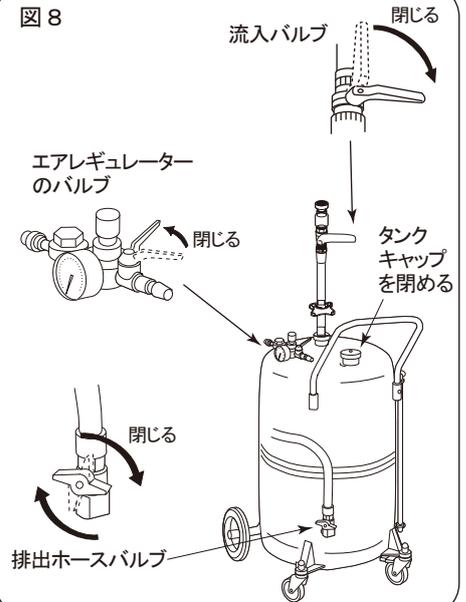


図 9

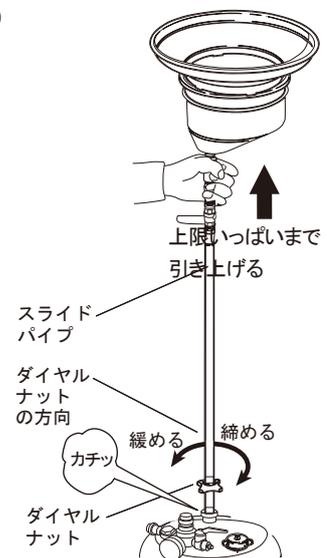
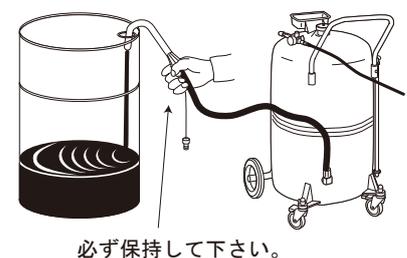


図 10



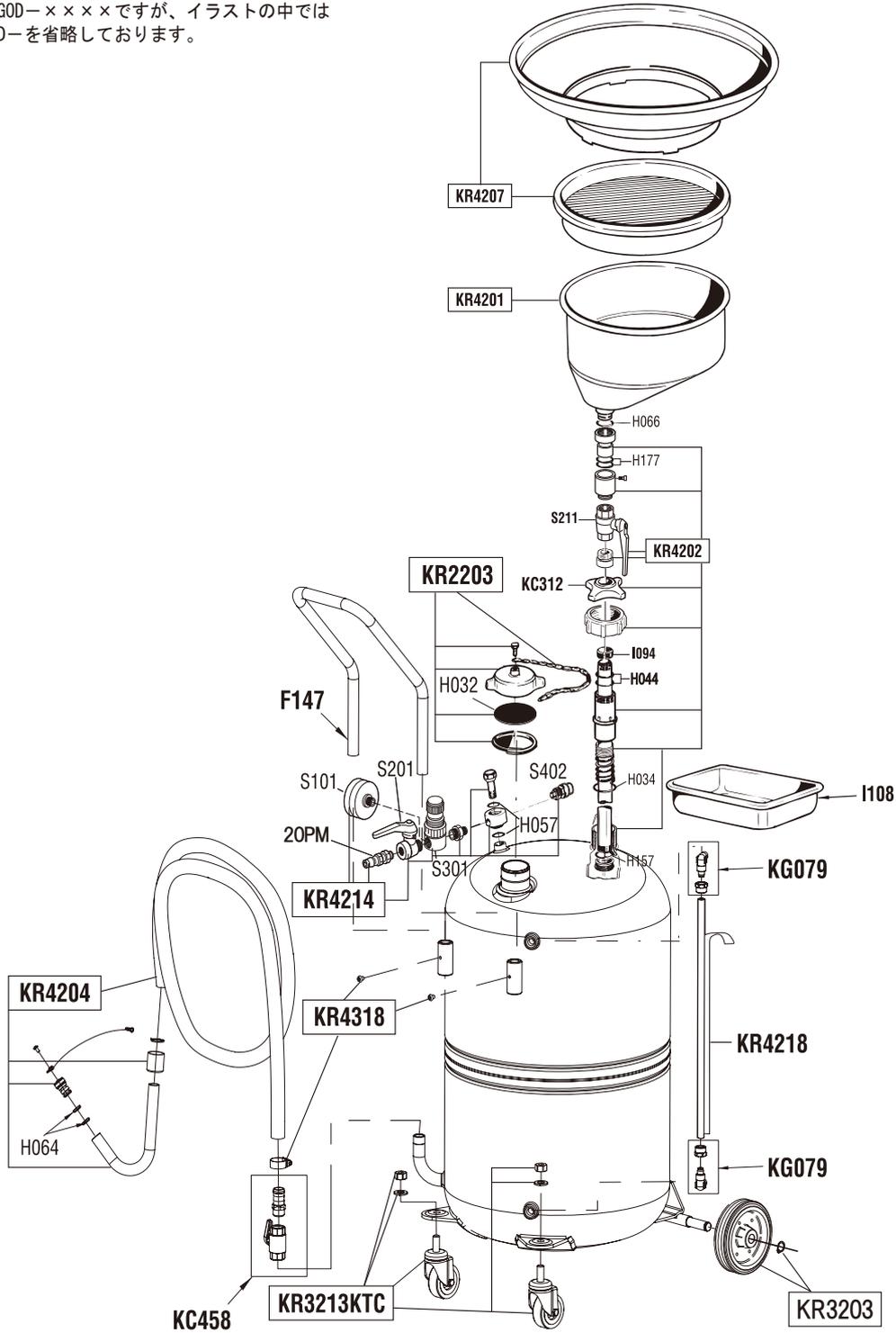
トラブルチェックポイント

- ❓ タンクの廃油を排出しようとしたが、「排出できない」または「排出量が少ない」。
- Ⓐ スライドパイプの流入バルブを閉じ、廃油受皿を上限いっぱいまで引き上げ、カチッという所まで操作して下さい。
- Ⓐ エアレギュレーターの圧力ダイヤルを調整し入力空圧を1bar(0.1Mpa/1kgf/cm²)以下にて操作して下さい。

実施しても改善されない場合には…
KTC 取扱店様に修理・点検をご相談下さい。

スペアパーツ

この部品品番は全てGOD-××××ですが、イラストの中ではスペースの都合上GOD-を省略しております。



部品名称	部品品番	員数
エアカブラ	GOD-20PM	1
フリクションリング	GOD-I094	1
トレイ	GOD-I108	1
排出ホースバルブAssy	GOD-KC458	1組
パイプハンドル (小)	GOD-F147	1
ダイヤルナット	GOD-KC312	1
レベルゲージエルボAssy	GOD-KG079	2組
タンクキャップ	GOD-KR2203	1組
固定キャスターφ150 (スナッピング付)	GOD-KR3203	1組
ボウル	GOD-KR4201	1

部品名称	部品品番	員数
排出ホースAssy	GOD-KR4204	1組
ホースバンド	GOD-KR4318	1組
レベルゲージパイプ (80Lタンク用)	GOD-KR4218	1
ワイドハット+落下防止ネット	GOD-KR4207	1組
流入バルブ	GOD-S211	1
安全弁	GOD-S402	1
自在キャスターφ80 (ナット付)	GOD-KR3213KTC	1組
エアレギュレーター用バルブ	GOD-S201	1
空圧計	GOD-S101	1
エアレギュレーター	GOD-S301	1

部品名称	部品品番	員数
レギュレーターAssy	GOD-KR4214	1組
スライドパイプAssy	GOD-KR4202	1組
パッキン	GOD-H032	1
Oリング	GOD-H034	1
Oリング	GOD-H044	1
Oリング	GOD-H057	2
Oリング	GOD-H064	2
Oリング	GOD-H066	1
Oリング	GOD-H157	1
Oリング	GOD-H177	2

製造国：イタリア 販売者の名称・所在地：京都機械工具株式会社 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

URL <http://www.kyototool.co.jp/>

本製品の問い合わせは、最寄りの下記営業所までお寄せください。

お客様窓口
(ものづくり/お客様センター)
TEL:0774-46-4159
FAX:0774-46-4359
Email/support@kyototool.co.jp

支店 TEL/東京 03(3752)2261/名古屋 052(882)6671/近畿 0774(46)3711
営業所 TEL/札幌 011(824)0765/仙台 022(231)6322/金沢 076(291)4546/広島 082(273)0202
/四国 087(869)4474/福岡 092(441)5637

No. T57010-1.06.08.500.KTC